

第158期 中間株主通信

2021年4月1日 ▶ 2021年9月30日

 **新家工業株式会社**
証券コード: 7305

株主の皆様へ



取締役社長

井上 智司

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、第158期第2四半期連結累計期間（2021年4月1日から2021年9月30日まで）の当社グループの業績につきまして、その概要をご報告申し上げます。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、民間消費や民間設備投資においては持ち直し基調であるものの、不透明な状況が続きました。

鋼管需要は、建築、自動車、産業機械等において回復基調であります。建築関連では大型物件には動きが見られる一方で、中小物件につきましては、原材料の高騰や先行きの不透明感から計画の見直しによる延期や中止の動きが見られました。

このような情勢のもと、当社グループといたしましては、製品の安定供給に努め、主力の鋼管事業を中心に様々な顧客ニーズに柔軟かつ迅速な対応を図るよう積極的な営業展開を実施するとともに、設備稼働率の向上とコスト削減に努力しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は18,615百万円（前年同期比6.9%増）、営業利益1,270百万円（前年同期比1,181.0%増）、経常利益1,396百万円（前年同期比671.6%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は925百万円（前年同期比6.0%増）となりました。

なお、中間配当につきましては、安定的かつ継続的な配当を行なう基本方針に基づき、当期の業績ならびに今後の事業展開を勘案いたしまして、1株につき20円とさせていただきます。何卒ご了承賜りますようお願い申し上げます。

今後の見通しにつきましては、材料価格は上昇が見込まれるものの、販売価格への転嫁にも天井感が始まっており、数量の伸びが鈍化するものと思われます。更に、現在世界市場をリードする中国における粗鋼生産数量の急減や鉄鋼関税の引き上げなど先行きの不透明要因が、国内市場に悪影響を及ぼす懸念もございます。

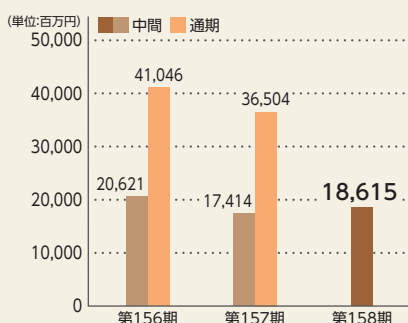
当社グループにおきましても、材料のタイト感は継続するものと見込まれますが、製品の適正在庫と適正価格の維持に注力し、製販一体となった安定生産・安定供給を図ることで利益確保に努めて参ります。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援賜りますようお願い申し上げます。

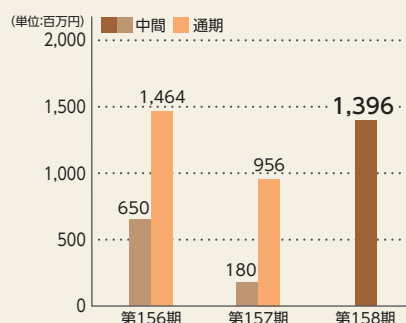
2021年12月

財務ハイライト（連結）

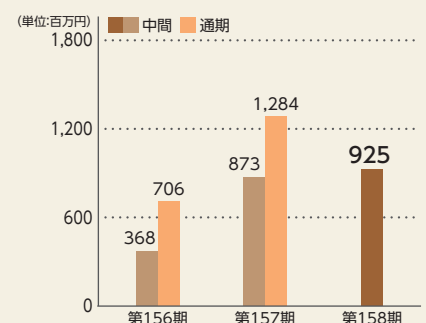
● 売上高（連結）



● 経常利益（連結）



● 親会社株主に帰属する中間(当期)純利益（連結）



事業別概況

鋼管関連事業

売上高
18,137百万円
前年同期比 **7.3%**増

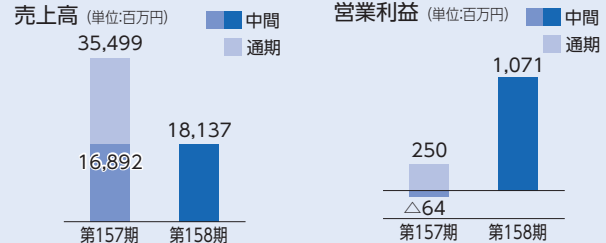
普通鋼製品につきましては、主力製品である鋼管が物流倉庫向け等の底堅い受注により好調に推移しました。また、リフォーム需要を中心とした住設機器向けにおいても、堅調な動きとなり、前年同期比で販売数量増となりました。

ステンレス鋼製品につきましては、ニッケル市況が高止まりするなか、半導体装置や医療、食品関連、水処理関連等の案件を中心に販売数量が増加しました。

また、当社では、材料価格等の上昇を背景に普通鋼製品およびステンレス鋼製品の販売価格の引き上げを実施したことに加

え、生産品種の見直しや一定量の生産数量が確保できたこともあり、当第2四半期連結累計期間の収益は改善いたしました。

この結果、当事業の売上高は18,137百万円（前年同期比7.3%増）、営業利益は1,071百万円（前年同期は営業損失64百万円）となりました。



自転車関連事業

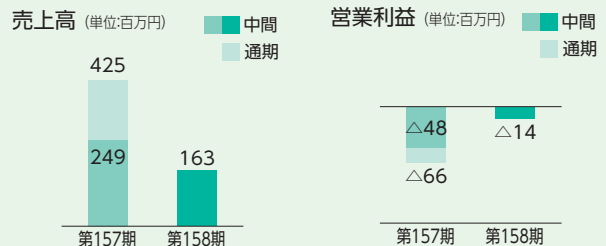
売上高
163百万円
前年同期比 **34.6%**減

国内の自転車市場は、新型コロナウイルス感染症の拡大を起因に「健康」「環境」「感染対策」としての必要性が認識され、その需要は全世界で拡大してきました。一方で急速な需要の増加に対して供給が追いつかず、当社においても販売数量の確保が困難な状況が続いております。

このような状況のなか、当社では、供給ソースの見直しおよび新ブランドの立ち上げを行い、収益の改善を図りました。

この結果、当事業の売上高は163百万円（前年同期比34.6

%減）、営業損失は14百万円（前年同期は営業損失48百万円）となりました。



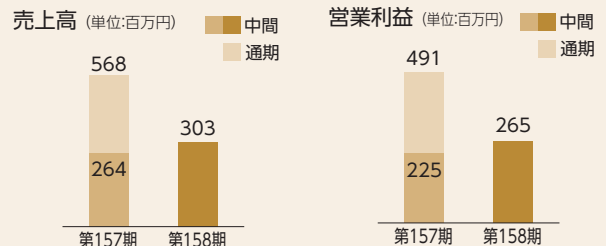
不動産等賃貸事業

売上高
303百万円
前年同期比 **14.7%**増

不動産等賃貸収入につきましては、東京都大田区の地代収入を中心に、関西工場リム工場跡地の地代収入や東京都江東区の自社ビル「アラヤ清澄白河ビル」の賃貸収入、大阪府茨木市の地代収入などにより、安定した業績をあげております。

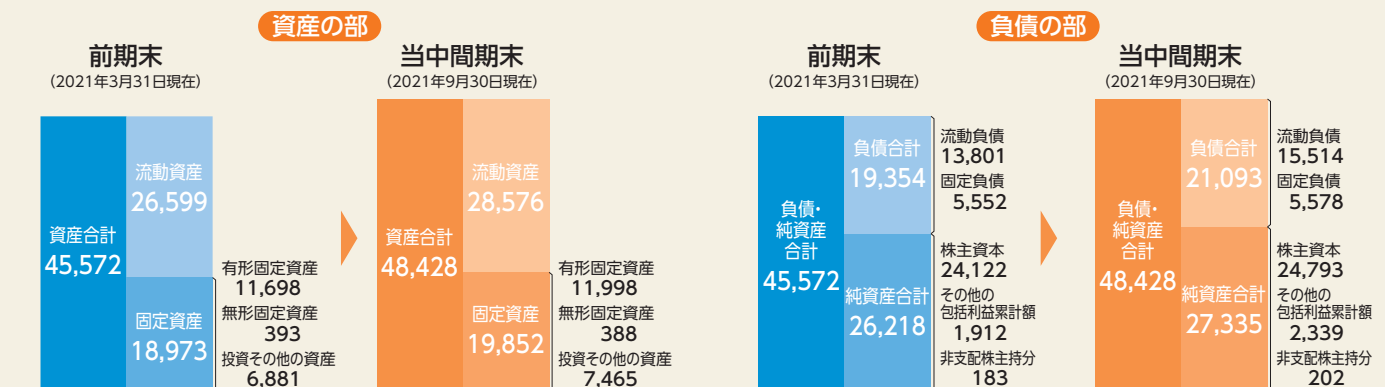
この結果、当事業の売上高は303百万円（前年同期比14.7

%増）、営業利益は265百万円（前年同期比17.7%増）となりました。



連結財務データ

● 連結貸借対照表 (単位:百万円)



TOPICS

輪界(自転車)部門における 新たな取り扱いブランドの紹介

当社の輪界部門では、完成車として「アラヤ」および「ラレー」の2ブランドを設計・販売していましたが、新たに「POLYGON」ブランドの取扱いを開始しましたので紹介いたします。

「POLYGON」は最新技術を駆使して様々なフィールドに合った高性能なスポーツ自転車を展開しております。ロードバイク、マウンテンバイク、クロスバイク等を世界各国に供給し、マウンテンバイクのワールドカップにおいてはライダーたちに輝かしい成績を残してきました。最新のテクノロジーで常に発展し、世界でも注目を集めている自転車総合ブランドです。

当社は、同ブランドの日本国内の代理店として新たな販路を拡大するとともに自転車事業の拡大を目指して参ります。



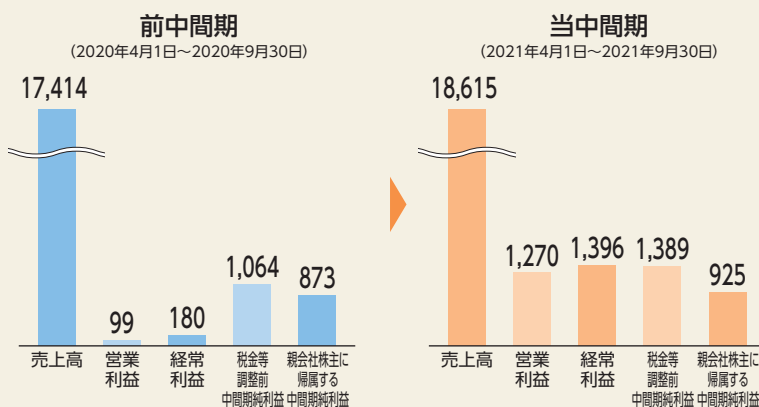
SISKIU T7

「POLYGON」ブランドの製品はHPでご確認ください。

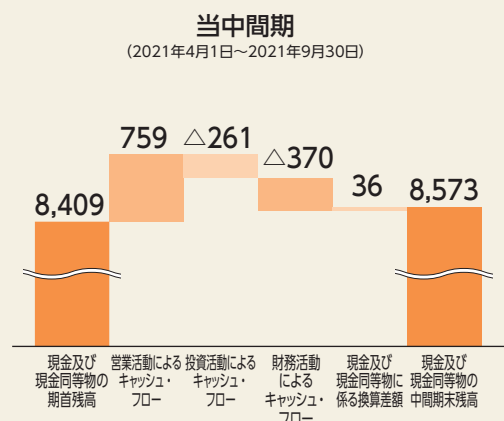
<https://www.polygonbikes.jp/>



● 連結損益計算書 (単位:百万円)



● 連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)



会社情報 [2021年9月30日現在]

■ 会社の概要

社名	新家工業株式会社
設立	1919年11月25日
資本金	3,940,277,093円
本社	大阪府大阪市中央区南船場二丁目12番12号
営業所	営業本部 大阪府大阪市西淀川区竹島一丁目1番 東京営業所(鋼管) 東京都江東区白河4丁目4番11号 アラヤ清澄白河ビル2階 名古屋営業所(鋼管) 愛知県名古屋南区荒浜町三丁目1番地
工場	関西工場 大阪府大阪市西淀川区竹島一丁目1番 名古屋工場 愛知県名古屋南区荒浜町三丁目1番地 千葉工場 千葉県印旛郡酒々井町伊篠字大山 山中工場 石川県加賀市山中温泉上原町3番地
関係会社	* アラヤ特殊金属株式会社(大阪府大阪市) * 大栄鋼業株式会社(大阪府岸和田市) * ステンレスパイプ工業株式会社(大阪府堺市) * PT.アラヤ スチール チューブ インドネシア (インドネシア共和国) アトラスark株式会社(埼玉県越谷市) (*印は連結対象子会社)

■ 役員 [2021年12月9日現在]

代表取締役社長	井上 智 司
代表取締役常務	北村 哲也
常務取締役	浜田 哲洋
常務取締役	松尾 政哉
取締役	市川 圭司
社外取締役	大迫 一生
取締役(常勤監査等委員)	安 仲 勤
社外取締役(監査等委員)	夏 住 要一郎
社外取締役(監査等委員)	西 尾 宇一郎

ホームページのご案内

<https://www.araya-kk.co.jp>



株式情報 [2021年9月30日現在]

■ 株式の状況

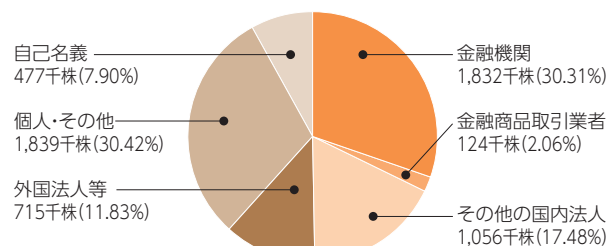
発行可能株式総数	16,000,000株
発行済株式の総数	6,045,326株
株主数(単元未満株主数を含む)	3,837名

■ 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	541千株	9.70%
THE HONGKONG AND SHANGHAI BANKING CORPORATION LIMITED - HONG KONG PRIVATE BANKING DIVISION CLIENT A/C 8028-394841	448	8.05
株式会社北國銀行	258	4.64
株式会社三菱UFJ銀行	258	4.64
加賀商工有限会社	210	3.77
株式会社りそな銀行	209	3.76
阪和興業株式会社	177	3.18
株式会社みずほ銀行	157	2.83
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	145	2.60
新家 正彦	128	2.30

(注) 1. 持株数については千株未満を、持株比率については小数点以下第三位をそれぞれ切り捨てて表示しています。
2. 持株比率は自己株式(477千株)を控除して計算しています。
3. 当社保有の自己株式を除く上位10名を記載しています。

■ 所有者別株式分布状況



(注) 株式数については千株未満を切り捨てて表示しています。

■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月開催
単元株式数	100株
基準日	定時株主総会 3月31日 剰余金の配当 期末 3月31日 中間 9月30日
株主名簿管理人 (特別口座の口座管理機関)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(フリーダイヤル)0120-094-777
公告方法	電子公告 当社ホームページに掲載いたします。 (https://www.araya-kk.co.jp) ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せ下さい。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意下さい。
- 特別口座に登録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。